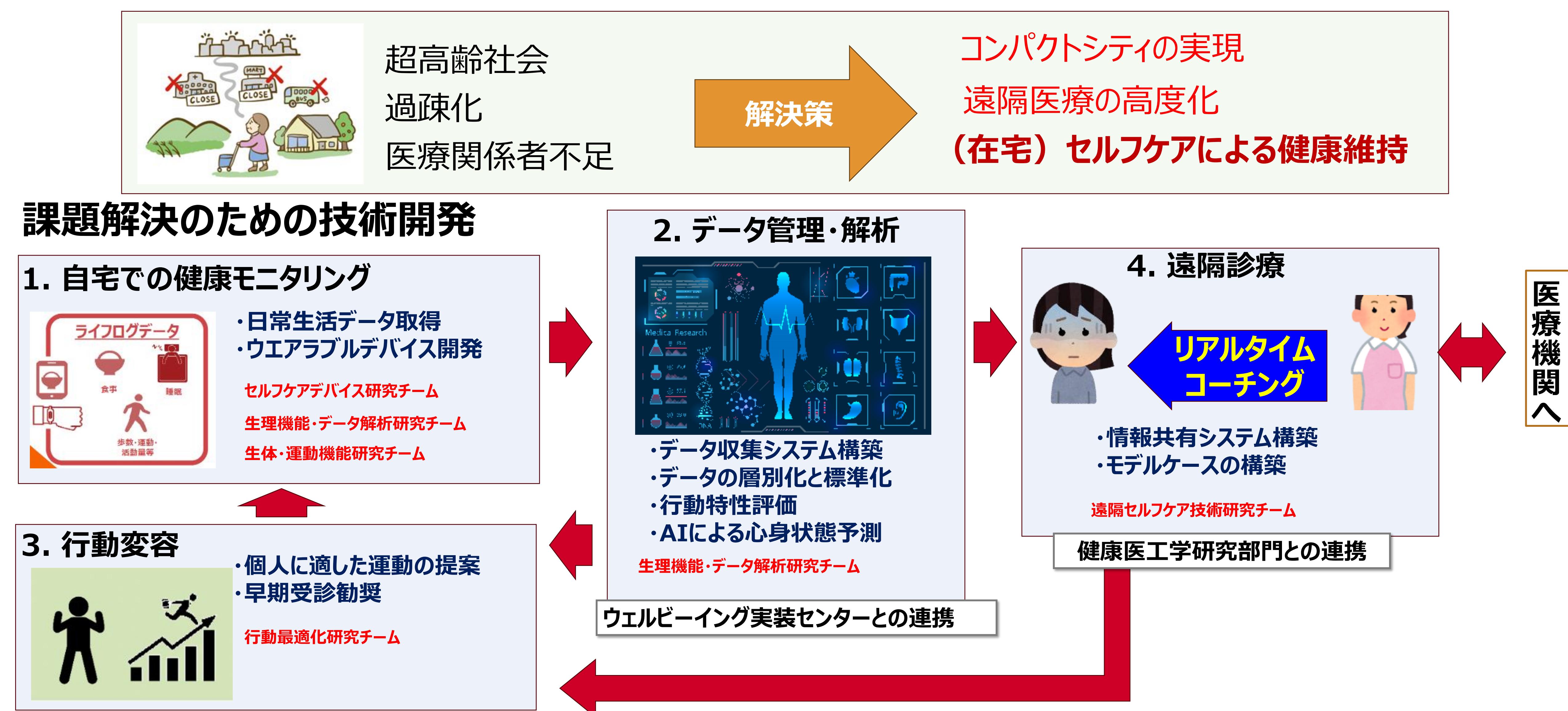


セルフケア実装研究センター

7つの実装研究センターの一つ。「人口減少・高齢化社会への対応」に取り組む。

- ▶ 自宅等での医療的なデータ、日常生活上のデータ、生活環境のデータを統合し、AIを活用しながら適切な健康度評価モデルを構築、効果を最大化したコーチングを実施するためのシステムとしてセルフケア基盤技術の整備と実証実験を目指す。

健康寿命延伸のためのパーソナルヘルスデータ統合によるセルフケアプロジェクト



5つの研究チームで、セルフケアの基盤技術を社会実装し、健康寿命の延伸を目指す

- 幹部: 研究センター長: 丸山 修、副研究センター長: 葛仲 潔・岩木 直、主席研究員: 鎮西 清行
- セルフケアデバイス研究チーム(研究チーム長 竹井 裕介): 自宅や屋外での健康モニタリング実現のため、日常生活データを取得・解析し、より良い心身状態へ導くためのウェアラブルデバイス等の技術開発を行う。
- 生理機能・データ解析研究チーム(研究チーム長 菅原 順): 生理機能の連関を統合的に分析し、循環器疾患や脳機能障害の発症予測に有効な生理機能データの取得・評価技術および発症リスク軽減支援技術を開発する。またデータの収集システム構築やデータ連携等を行い、行動特性や心身状態の予測を行うための技術を開発する。
- 生体・運動機能研究チーム(研究チーム長 藤本 雅大): 健康リスクの評価とその低減を目的として、生理生化学・バイオメカニクス的研究アプローチにより、身体の生理・運動機能の評価・改善技術を研究開発する。
- 行動最適化研究チーム(研究チーム長 小林 吉之): データをもとに、個人への情報のフィードバックを行う技術やサービス、また個人に適した生活等の提案や早期受診を促すなどの仕組みを実施する技術やサービスを研究開発する。
- 遠隔セルフケア技術研究チーム(研究チーム長 葛仲 潔): 医療関係者やケアマネージャー等が遠隔コーチング・ケアなどを実施するための情報提供手段やそのシステム構築を行い、遠隔セルフケアに資する技術開発を実施する。